

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	平成30年10月30日(火) 午後2時 開会 ・ 午後3時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	橋本清美      山下恵久子      白水 翠      下里隆子 宮岡幸江      諏訪結花      栗原正明      伊藤祐一 橋本康夫      青木和男
欠席委員(者)氏名	齋藤勝久      臼井 秀      平林佳代子      伊藤 翔      渡辺雅智
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 松本幸文
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議事録署名人の選出について 4 議 題 (1) 新地域福祉計画第5章、6章の修正案について(公開) (2) 同第7章の改定案について(公開) (3) その他(公開) 5 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・入間市地域福祉計画第5章(案) ・入間市地域福祉計画第6章(案) ・入間市地域福祉計画第7章(案)
事務局職員職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 議 題

(1) 新地域福祉計画第5章、6章の修正案について

- ・第3次入間市地域福祉計画第5章、6章について、前回の地域福祉計画進行管理委員会等を踏まえて修正した案について説明した。その後、各委員から意見聴取した。

(2) 同第7章の改定案について

- ・第3次入間市地域福祉計画第7章について、事務局が作成した素案を提示し、説明した。主な改正点を項目毎に説明し、その後各委員から意見聴取した。

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p style="text-align: center;">(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>第4回会議の議事録署名人は、名簿順に従い、白水委員とされた。</p> <p style="text-align: center;">(議題(1)新地域福祉計画第5章、6章の修正案について)</p>
栗原委員長	事務局の説明に対するご意見、ご質問など何か有りますでしょうか。
橋本(康)委員	<p style="text-align: center;">【第5章 第5節 社会福祉協議会への支援】</p> <p>第5節にあった地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの図について、社協との調整はとれたのでしょうか。</p>
事務局	前回の地域福祉計画進行管理委員会の後、社協と打合せをし、これを踏まえ現在社協で作成中です。橋本委員が作られた図や、市の作成した図を社協に提供し、社協の地域福祉活動計画の中に盛り込むことで調整しております。
栗原委員長	他に何か有りますでしょうか。無いようでしたら、議題(2)の新地域福祉計画第7章の改定案について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(議題(2)新地域福祉計画第7章の改定案について)
栗原委員長	事務局の説明に対するご意見、ご質問など何か有りますでしょうか。
下里委員	<p style="text-align: center;">【第1節 自分にできることが発揮できる地域づくり】</p> <p>2ページ下段の外国人市民についてですが、1行目のみ「外国人が住民登録」となっていますが、その他は全て外国人市民という表記をしています</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>す。何か意図があるのでしょうか。特になければ、見直し前と同様に「外国人市民が登録」という表記にしてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>表記については、関係課とも調整して、違和感の無い表記に変更していきます。</p>
青木委員	<p><b>【第2節 担い手やリーダーの発掘と育成】</b> 6ページの「担い手」の表についてですが、今まで記載してあった担い手の団体で、今回記載していない団体があったのですが何か理由が有りますか。</p>
事務局	<p>表を整理し、地域住民による担い手、専門職による担い手に分けました。ご指摘のあった団体などは基本的に記載していくよう修正します。</p>
橋本（清）委員	<p>最近では「フードバンクいるま」や「こども食堂」が活動していますが、これらも記載してはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>表の中に記載していきます。</p>
伊藤（祐）委員	<p><b>【第3節 ボランティア育成に向けた多面的な取り組み】</b> 7ページの「今までは」の最後に、市職員もボランティア活動を行っていると記載されていますが、趣旨としては、地域住民と地域づくりを行うということでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的にはそのような解釈で問題有りません。活動の目的は、自治会活動に参加し、地域の実情と課題を体感する、地域住民と活動し地域を盛り上げていくなどです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
伊藤（祐）委員	私の地域の行事でも市の職員に来ていただいたが、どこまでお願いしているのかわからない場面がありました。
宮岡委員	運営する側が「この役割をお願いします」という形で割り振ればいいと思います。市の職員もボランティアで来ているので、運営側で人が足りない部分を補ってもらっています。
下里委員	文章については、地域住民と一緒に活動しているといった文言を入れてはどうでしょうか。
事務局	そのように修正します。
橋本（康）委員	<p>【第4節 地域づくりに必要な財源の確保】</p> <p>地域住民による自主財源の確保とありますが、この文章では「地域のことは自分たちで面倒をみなさい、行政は関わらない」というように感じます。財源を地域で確保するということは、とてもではありませんができません。ボランティア活動をしながらお金を集めるのでは、これから設立していく組織には大きな足かせとなる。「クラウドファンディング」にしても、狭い地域で行っても効果が薄く、現実的ではないと思います。財源については、まず行政が確保していくべきではないでしょうか。</p>
伊藤（祐）委員	私も同じ意見です。財源の確保を地域が行うということは、もはやそれはボランティアではなく事業を行う事業者になってしまうのではないのでしょうか。ではどのようにして財源を確保するのか、ここでは寄付を募るとあり、聞こえはいいですが、実際の狭い地域の中で実現することは難しいと思います。募金と言っても、赤い羽根や赤十字、年末助け合いなど現行で

発 言 者	発 言 内 容
青木委員	<p>もかなり多く集めている。寄付にしても、相当の理解を得る必要があると思います。</p> <p>ささえあい東藤沢では立ち上げの際、利用料は取るべきでないといった意見も有りました。しかし、ボランティアする側に何も報酬がないこととなります。このことからワンコインでいいから利用料を頂くことになりました。また、利用料の値上げにも踏み切りました。これは、我々がある程度財源を確保しなければ、市が補助金を出すなどの動きに繋がらないからです。その結果、市からは社協を通じて、年24万円の補助金が出ることとなりました。やはり、市にはある程度負担してもらう必要があると思いますし、我々も財源確保を考えていかなければならないと思います。</p>
下里委員	<p>他の委員がおっしゃるようにこの文章は、ボランティアの方に対して突き放すような印象を受けやすいと思います。市や社協から補助金が出ていることを知らない人もいます。補助金を出していることをはっきり書いて、「補助金を出しているけどそれだけでは賄えないため、ある程度は地域でも負担をし、またこれからはそういう時代になっていく」とか、「行政も考えていくが、地域にも協力してもらい、一緒にやっていく」というような書き方にしてはどうでしょうか。また、「クラウドファンディング」は最近注目されているとありますが、他の委員がおっしゃるように地域が狭く集めるのが難しいことと、地域住民にとってはまだまだ浸透していない言葉なので削ってはどうか。</p> <p>また、青木委員の言うささえあいの利用料についてですが、利用者にとっては料金を支払った方が利用しやすいという方もいます。</p>
山下副委員長	<p>私も第4節の案については違和感が有ります。特に、「今までは」の所の「財源は行政に依存するところが大きく」については、我々、ささえあい</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>の組織の人間としてはショックすら感じます。ボランティアの方の善意にあぐらをかかず、ボランティアの方の気持ちを尊重していただきたいです。どの事業にしてもボランティア無しでは成り立たない。この文章については改めていただきたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。財源の確保は社会福祉法の改正により、新たに地域福祉計画に盛り込むべき事項として例示されたもので、公的財源以外の財源の確保を、これからは考えていかななくてはならない旨を盛り込んだものです。しかし、内容がボランティアの方にとって冷たい表現とのご意見を頂きましたので、文章の内容について表現を改めていきたいと思えます。ただ、市としては、財源の全てを地域でお願いしますということではありません。行政のバックアップはこれからも続いていくことになります。行政や社協の支援がなくなることは無いのですが、新しい方法として、こんなやり方もあるのだということ为例示させていただくという意味で作成しました。財源の確保には、市や社協の支援の他、何らかの新たな取り組み、そして青木委員のおっしゃるように利用料などで財源を確保し、皆さんで地域づくりをしていくという表現にしていきたいと思えます。</p>
委員長	他に意見は有りますでしょうか。
伊藤（祐）委員	我々の地域では、ささえあい組織の立ち上げに向けて準備を進めているところですが、その会議の場には市から介護保険課の職員が出席していました。福祉総務課の所管ではないのでしょうか。
諏訪委員	介護保険課の仕事の一つとして、ささえあい組織の立ち上げ支援も有りますので、その観点から介護保険課の職員が伺ったのだと思えます。

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>最初のきっかけとして、西武地区の近隣助け合い活動推進組織の方が介護保険課に相談したという話を聞いております。ささえあい組織の立ち上げを支援する第1層、第2層の生活支援コーディネーターの配置は介護保険課が所管であることから介護保険課に最初の相談があったのだと思います。そこを発端に関わりが始まり、設立に向けた委員会で挨拶に伺ったという流れになります。福祉総務課は関係無いということではありません。</p>
伊藤（祐）委員	<p>つまり市役所内で連携は取れているということですか。</p>
事務局	<p>介護保険課より情報の提供は受けています。</p>
栗原委員長	<p>他に意見は有りますでしょうか。特になければ、これで議題は全て終了となりますので、議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>



議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成30年12月6日

議長の署名 \_\_\_\_\_ 栗原正明 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_ 白水翠 \_\_\_\_\_